

平成23年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	廃棄物系バイオマス次世代利活用推進事業		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20~22年度		担当課室	廃棄物対策課		廃棄物対策課長 山本 昌宏		
会計区分	一般会計		施策名	4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	バイオマス活用推進基本法第14条、第24条 循環型社会形成推進基本法第9条、第29条 等		関係する計画、 通知等	循環型社会形成推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	バイオマス活用推進基本法等により、政府の一体的な取組が求められているが、特に廃棄物系バイオマスについては、性状、排出量、地理的分散等の状況が大きく異なり、利活用が困難であることから、廃棄物系バイオマス利活用推進の現状を整理、今後の施策の方向性を明らかにすることで、利活用の推進を図るものである。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	廃棄物系バイオマスの利活用を進めるためには、それらを分別して排出してもらい、適正かつ効果的に収集し、利活用できるよう再生し、製品として利用することが必要となる。こうした分別収集から利活用までの一連のシステムについて、モデル事業を実施するとともに、現在の廃棄物系バイオマスの処理にかかる国内外の技術情報等を収集・整理し、今後の施策の方向性の検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	334	334	105			
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	334	334	105			
	執行額		29	142	104			
	執行率(%)		9	42	99			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	施策の方向性の検討を目的とする事業であるため、定量的な成果目標は存在しない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施策の方向性の検討を目的とする事業であるため、定量的な成果目標は存在しない。		活動実績 (当初見込み)					—
						()	()	
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				H22限り				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は3年度計画であり、平成22年度で終了となるが、バイオマスについては、平成21年に成立したバイオマス活用推進基本法に基づくバイオマス活用推進計画が本年度策定される予定であり、その中ではバイオマスの種類毎の目標が定められることとなっているなど、今後も循環型社会及び低炭素社会の形成に資する廃棄物系バイオマスの有効利用を更に推進するための施策を行う必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>点検結果欄に記載のとおり、本事業は3年計画の最終年であり、廃止。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>平成22年度限りで廃止とする。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省
104百万円

事業立案・調整・とりまとめ（事業発注者）



【総合評価入札】

A.(財)廃棄物研究財団
104百万円

- ◇処理技術調査の実施
- ◇モデル事業の実施
- ◇市町村向け手引きの作成
- ◇専門家による検討会の開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

A.(財)廃棄物研究財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査、とりまとめ等	27			
一般管理費	業務の安全な遂行、進捗管理等	19			
旅費・謝金	検討会旅費・謝金、調査旅費	3			
試験分析費	メタン発酵実証実験に係る試験、分析	35			
消耗品費	試験薬品、ごみ袋等	5			
通信・印刷費	アンケート調査、報告書作成	1			
その他	技術料	14			
計		104	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)廃棄物研究財団	廃棄物系バイオマス次世代利活用推進事業	104	1	99%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					